

# 令和6年度 第1回八王子市多文化共生推進評議会 議事要点録

|      |   |
|------|---|
| 開催場所 | 生涯学習センター（クリエイトホール）10階 第2学習室   |
| 開催日時 | 令和6年（2024年）7月12日（金） 午後6時30分～8時00分   |
| 出席者  | 木村座長、荒木評議員、遠藤評議員、奥野評議員、柴山評議員、ドミー評議員、花輪評議員、松本評議員   |
| 配布資料 | 評議会次第<br>資料1 八王子市多文化共生推進評議会 評議員名簿<br>資料2 第2期八王子市多文化共生推進プランに基づく取り組み状況<br>資料3 今後のGinkgo（ギンコ）発行について<br>資料4 地域日本語教育推進事業について |

## 1. 第2期八王子市多文化共生推進プランに基づく取組状況について

資料2について抜粋して事務局より説明

・施策 No.13 の学習支援教室の実施及び施策 No.15 の助っ人留学生制度について、令和6年度は何をアップデートされるか。また、施策 No.14 と No.15 の外国人留学生向け制度の見直しについても内容を教えてほしい。

### 【事務局の回答】

現在、学習支援教室については2か所から3か所に場所を増やして空白地域の解消に努めようと検討している。助っ人留学生事業については、より地域への貢献や地域の活性化に寄与する活動となるよう制度の見直しを行った。

・もう1点、外国人留学生の地域活動への参加ということを考えると、市から町会や自治会という組織に対して啓発を進めていってほしい。

### 【事務局の回答】

町会や自治会へのアプローチが不足していたという認識である。課題のマッチングなど、制度の充実に向けてご意見を伺ってまいりたい。

・教育委員会でも文部科学省関係でもないのに留学生の日本語能力試験の支援をしたということは特筆すべきことで、もっと宣伝してもいい。あと、留学生と言っても、国費留学生とそれ以外の留学生がいて、特に国費留学生は地域との関りが薄いため、積極的にアプローチをすべきと思う。

・日本語学校で助っ人留学生の募集を行ったところ、200名程度募集があった。意義を理解してもらえれば、金銭的なメリットが無くても参加しようとする留学生は多い。ただ、登録の手続きが未だ高いハードルとなっ

ており、簡素化してほしい。

・地域のフェス活動や納涼祭の実行委員会の立場として、是非留学生に来てほしいと思う。町会長等にはそういった情報が伝わっていない。宣伝をしてほしい。

**【事務局の回答】**

登録されている留学生や日本語学校等への周知は行っているが、その他は市 HP に限られている。これまでも各種助っ人活動について、町会と連携しているが、いずれも市から町会に直接打診をしているので、今後は全体への周知を検討していきたい。

・子ども食堂で関わる外国人留学生から話を聞くと、彼らも地域とつながる機会を求めている。あと、多文化キッズサロンについて、どのように実施されているのか伺いたい。

**【事務局回答】**

都が令和5年度に創設した補助制度に則り実施しており、主に日本語を母語としない子どもを対象に、学習・相談・交流の3つの機能を備えている。もともと八王子国際協会が取り組む学習機能を充実して実施している。

・先程、子ども食堂において、外国籍の子ども達が特に意識せずに溶け込んでいる状況と仰っていたが、まさにその地域に溶け込む姿が理想である。もちろん、社会の中で居場所を求める外国籍の子どもの支援は必要だが。

・社会に溶け込むということについて言えば、外国にルーツを持つ子どもが公立学校に通うという目標・目的をはっきりさせるキャッチコピーを打ち出すのも1つではないか。

・地域によって外国にルーツを持つ子どもの状況（国籍や不登校児童の状況など）は異なるので、八王子市にとって最善の形で運営されることが良いのではないか。

・施策 No.8 の就労支援について、就職した先で覚えた日本語等、言葉の範囲が限定されてしまう。介護人材に限らず、就職している外国人の状況に応じた支援を検討するべきかと思う。

**【事務局の回答】**

商工会議所において外国人雇用に関して必要な支援が始まった所であり、そういった支援の拡充を期待しているところである。

・施策 No.1 行政情報の多言語化について、行政サービスの冊子を渡していても、目を通されていない。日本語でも難しい内容なので、やさしい日本語を使ってイラストの量を多めにしてもらいたい。

**【事務局の回答】**

大量の情報を提供しようとして、どうしても分量が多くなってしまう。情報の発信について見直してまいりたい。

## 2. 今後の Ginkgo（ギンコ）発行について

資料3について事務局より説明

- ・スペイン語を廃止するのは、翻訳が困難であるためか。数は少ないが、スペイン語しか話せないという方が一定数いるので、せめて電子版でも残してもらいたい。

### 【事務局の回答】

需要がそれほど無いと見込んでいる。また、市の広報はカタログポケットというアプリで自動翻訳が可能であり、そういった状況を踏まえ、廃止の方向で考えている。

- ・八王子市に住む外国人の年齢層を考えると、若い人が多いので、字を読まない人が多い。イラストも良いが、YouTube やインスタグラムなど、動画のほうが情報収集の手段として見てもらいやすいのでは。あと、外国人の雇用が多い企業も連携したいと考えているのではないかな。

- ・大学生達も自分たちで動画の作成ができる。また、YouTube の機能として AI で自動翻訳することもできる。
- ・最近では AI が発展しているので、アプリの紹介をするだけでもいい。自身で翻訳することができる。

## 3. 地域日本語教育推進事業について

資料4について事務局より説明

- ・5年前と比較して、外国人が皆スマートフォンを所有している状況となった。日常生活や行政手続きにおいてスマートフォンを駆使することで、生活に困らない状況になっている。日本語の学習を通じて、日本におけるマナーや生活の習慣を身につける機会が失われており、そこに手当てが必要と感じている。

- ・日本語教室の希望者が多く、満員の状態が続いている。八王子市には多くのボランティア団体が教室を開いているが、会場使用料や交通費などを自己負担としているところが多い。都の補助金等を活用いただき、そういった負担の軽減のための施策をお願いしたい。

### 【事務局の回答】

来年度に向けて、市でもできる限りの支援を考えていきたい。

- ・決して日本語学習について好意的でない方に対して、心理面でのサポートも含めた支援を期待したい。

### 【事務局より委員に確認】

- ・地域日本語教育推進事業についての議論を行う会議体としての役割を、八王子市多文化共生推進評議会に担っていただきたいと考えているが、了承いただけるか。

- ・異議なし。